

届 出 書

当日の日付(工事開始7日前まで)

宛先 松 阪 市 長

令和 年 月 日

フリガナ
発注者又は自主施工者の氏名(法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名) ㈱〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇
(郵便番号 〇〇〇-〇〇〇〇) 電話番号 〇〇〇〇 - 〇〇 - 〇〇〇〇
住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇〇番地
(転居予定先) (郵便番号 -) 電話番号 - -
住所

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第10条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1. 工事の概要

- ① 工事の名称 〇〇様邸解体工事・〇〇マンション新築工事・ガス管設置工事
- ② 工事の場所 〇〇市〇〇町〇〇番地
- ③ 工事の種類及び規模
- ☒建築物に係る解体工事 用途 専用住宅、階数 2、工事対象床面積の合計 100 m2
- ☒建築物に係る新築又は増築の工事 用途 共同住宅、階数 15、工事対象床面積の合計 11,000 m2
- ☐建築物に係る新築工事等であつて新築又は増築の工事に該当しないもの
- 用途、階数、請負代金 万円
- ☒建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等 請負代金 1,000 万円
- ④ 請負・自主施工の別: ☒請負 ☐自主施工

2. 元請業者(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

- フリガナ
- ① 氏名(法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名) ㈱〇〇土木 代表取締役 〇〇 〇〇
(郵便番号 〇〇〇 - 〇〇〇〇) 電話番号 〇〇〇〇 - 〇〇 - 〇〇〇〇
- ② 住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地
- ③ 許可番号(登録番号)
- ☒建設業の場合
- 建設業許可 国土交通大臣知事(特 - 〇〇) 〇〇〇〇 号 (〇〇 工事業)
- 主任技術者(監理技術者)氏名 〇〇 〇〇
- ☒解体工事業の場合
- 解体工事業登録 〇〇 知事 〇〇〇〇 号
- 技術管理者氏名 〇〇 〇〇

3. 対象建設工事の元請業者から法第12条第1項の規定による説明を受けた年月日

(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

令和 〇 年 〇〇月 〇〇日

4. 分別解体等の計画等

- 建築物に係る解体工事については別表1(工事スケジュール・地図・写真添付)
- 建築物に係る新築工事等については別表2(工事スケジュール・地図・平面図添付)
- 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等については別表3(工事スケジュール・地図・平面図添付)
- により記載すること。

5. 工程の概要

(工事着手予定日) 令和 〇 年 〇〇 月 〇〇 日

(工事完了予定日) 令和 〇 年 〇〇 月 〇〇 日

別紙のとおり

(できるだけ図面、表等を利用することとし、記載することができないときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。)

(注意)

1 □欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

2 届出書には、対象建設工事に係る建築物等の設計図又は現状を示す明瞭な写真を添付すること。

※受付番号

分別解体等の計画等

建築物の構造		☒ 木造 ☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ 鉄骨造 ☐ コンクリートブロック造 ☐ その他()		①解体建築物の構造の種類によりチェックマークを付けて下さい。	
建築物に関する調査の結果	建築物の状況	築年数 30年、棟数 1棟 その他()		②建築物のおおよその築年数と棟数を記載して下さい。	
	周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 ☐ 商業施設 ☒ 学校 ☐ 病院 ☐ その他() 敷地境界との最短距離 約 1 m その他(住宅密集地)		③隣家等の建物の近接状況周辺環境を記載して下さい。	
建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	建築物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容	④解体用機械の設置場所や作業場所の確保策を記載して下さい。	
	作業場所	作業場所 ☐ 十分 ☒ 不十分 その他(隣地の使用必要)	隣地使用の承諾済、 道路使用許可済		
	搬出経路	障害物 ☐ 有() ☒ 無 前面道路の幅員 約 4 m 通学路 ☒ 有 ☐ 無 その他(大型車通行不可)	交通整理員の常駐を計画 搬出用に2トントラックを準備	⑤障害物がある場合、前面道路の幅員が狭い場合、そのための対策を記載して下さい。	
	残存物品	☒ 有 (エアコン) ☐ 無	工事施工までに搬出	⑥残存物品の措置を記載して下さい。	
	特定建設資材への付着物	☐ 有 () ☒ 無		⑦付着物がある場合、措置を記載して下さい。	
	他法令関係	石綿(大気汚染防止法・安全衛生法石綿則) ☒ 有 特定建設資材への付着(☐ 有 ☒ 無) ☐ 無	石綿作業主任者を選任済 湿潤措置	⑧付着物がある場合、措置を記載して下さい。	
	フロン(フロン排出抑制法)	☒ 有(業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器のうちフロン類が使われているもの) ☐ 無	フロン類回収済		
その他				⑨有害物質発生がある場合、種類、発生箇所等について記載し、その措置の内容を記載して下さい。	
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程		作業内容	分別解体等の方法	
	①建築設備・内装材等		建築設備・内装材等の取り外し ☒ 有 ☐ 無	☒ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()	⑩原則手作業。機械併用の場合の理由を記載して下さい。工期短縮は不可です。
	②屋根ふき材		屋根ふき材の取り外し ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由(トタン屋根のため滑る)	⑪原則手作業。機械併用の場合の理由を記載して下さい。工期短縮は不可です。
	③外装材・上部構造部分		外装材・上部構造部分の取り壊し ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	⑫取壊しの有無と分別解体等の方法にチェックマークを付けて下さい。
	④基礎・基礎ぐい		基礎・基礎ぐいの取り壊し ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	
	⑤その他()		その他の取り壊し ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序		☒ 上の工程における①→②→③→④の順序 ☐ その他() その他の場合の理由()		⑬その他の場合は、一部の工程がない等の理由を記載して下さい。	
☒ 内装材に木材が含まれる場合		①の工程における木材の分別に支障となる建設資材の事前の取り外し ☐ 可 ☒ 不可 不可の場合の理由(建築物の構造上取り外しができないため)		⑭木材と一体の石膏ボード、窓枠の金属など分別の支障になる要因を記載して下さい。	
建築物に用いられた建設資材の量の見込み		50トン		⑮すべての資材のトン数について記載して下さい。	
廃棄物発生見込み	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み及びその発生が見込まれる建築物の部分		種類	量の見込み	発生が見込まれる部分(注)
			☒ コンクリート塊	25トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☒ ④ ☐ ⑤
			☒ アスファルト・コンクリート塊	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤
			☒ 建設発生木材	10トン	☒ ① ☒ ② ☒ ③ ☐ ④ ☐ ⑤
(注) ①建築設備・内装材等 ②屋根ふき材 ③外装材・上部構造部分 ④基礎・基礎ぐい ⑤その他					
備考		コンクリート:○○産業 アスファルト:○○興業 木材:○○興産		⑯特定建設資材廃棄物の再資源化の依頼予定事業者を記載して下さい。	

□欄には、該当箇所「レ」を付すこと。

別表2

(新築の場合)

(A4)

建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替)												
分別解体等の計画等												
使用する特定建設資材の種類	☒ コンクリート ☒ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☒ アスファルト・コンクリート ☒ 木材											
建築物に関する調査の結果	建築物の状況 築年数 年、棟数 棟 その他()											
	周辺状況 周辺にある施設 ☒ 住宅 ☐ 商業施設 ☒ 学校 ☐ 病院 ☒ その他(幼稚園) 敷地境界との最短距離 約 2 m その他(幹線道路沿い、交通量多い)											
建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	建築物に関する調査の結果 工事着手前に実施する措置の内容											
	作業場所 作業場所 ☒ 十分 ☐ 不十分 その他()											
	搬出経路 障害物 ☒ 有(未舗装) ☐ 無 前面道路の幅員 約 12 m 通学路 ☒ 有 ☐ 無 その他()											
	特定建設資材への付着物 (修繕・模様替工事のみ) ☐ 有 () ☐ 無											
	他法令関係(修繕・模様替工事のみ) 石綿(大気汚染防止法・安全衛生法石綿則) ☐ 有 特定建設資材への付着(☐ 有 ☐ 無) ☐ 無 フロン(フロン排出抑制法) ☐ 有(業務用のエアコン・冷凍冷蔵機器のうちフロン類が使われているもの) ☐ 無											
	その他											
工程ごとの作業内容	①造成等 造成等の工事 ☒ 有 ☐ 無											
	②基礎・基礎ぐい 基礎・基礎ぐいの工事 ☒ 有 ☐ 無											
	③上部構造部分・外装 上部構造部分・外装の工事 ☒ 有 ☐ 無											
	④屋根 屋根の工事 ☒ 有 ☐ 無											
	⑤建築設備・内装等 建築設備・内装等の工事 ☒ 有 ☐ 無											
	⑥その他(仮設) その他の工事 ☒ 有 ☐ 無											
	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の 見込み並びに特定建設資材が使用される 建築物の部分及び特定建設資材廃棄物 の発生が見込まれる建築物の部分											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>量の見込み</th> <th>使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>☒コンクリート塊</td> <td>20トン</td> <td> ☐① ☒② ☒③ ☒④ ☒⑤ ☐⑥ </td> </tr> <tr> <td>☒アスファルト・コンクリート塊</td> <td>2トン</td> <td> ☒① ☐② ☐③ ☐④ ☐⑤ ☒⑥ </td> </tr> <tr> <td>☒建設発生木材</td> <td>20トン</td> <td> ☐① ☐② ☐③ ☒④ ☒⑤ ☒⑥ </td> </tr> </tbody> </table>	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)	☒ コンクリート塊	20トン	☐ ① ☒ ② ☒ ③ ☒ ④ ☒ ⑤ ☐ ⑥	☒ アスファルト・コンクリート塊	2トン	☒ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥	☒ 建設発生木材	20トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☒ ④ ☒ ⑤ ☒ ⑥
種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)										
☒ コンクリート塊	20トン	☐ ① ☒ ② ☒ ③ ☒ ④ ☒ ⑤ ☐ ⑥										
☒ アスファルト・コンクリート塊	2トン	☒ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥										
☒ 建設発生木材	20トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☒ ④ ☒ ⑤ ☒ ⑥										
(注) ①造成等 ②基礎 ③上部構造部分・外装 ④屋根 ⑤建築設備・内装等 ⑥その他												
備考 コンクリート:○○産業 アスファルト:○○興業 木材:○○興産												

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		☐ 鉄筋コンクリート造 ☒ その他(木造)		←	①解体工事のみ記載。 鉄筋コンクリート造以外はその他に具体的な構造を記載してください。
工事の種類		☒ 新築工事 ☐ 維持・修繕工事 ☐ 解体工事 ☐ 電気 ☐ 水道 ☒ ガス ☐ 下水道 ☐ 鉄道 ☐ 電話 ☒ その他(排水路設置・水門設置)		←	②該当する項目にチェックマークを付けて下さい。 その他の場合は、具体的な工作物の種類を記載して下さい。
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		☒ コンクリート ☐ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☒ アスファルト・コンクリート ☐ 木材		←	③解体工事以外の工事では、使用する特定建設資材のチェックマークを付けて下さい。
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 40 年 その他()		←	④新築工事以外の工事では、記載して下さい。
	周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 ☐ 商業施設 ☒ 学校 ☐ 病院 ☐ その他() 敷地境界との最短距離 約 3 m その他(幹線道路上での工事、交通量多い)		←	
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容			工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容	⑥工作機械の設置場所や作業場所の確保策を記載して下さい。
	作業場所		作業場所 ☒ 十分 ☐ 不十分 その他(現道上における工事)	道路占用許可済、道路使用許可済	⑦障害物がある場合、前面道路の幅員が狭い場合、そのための対策を記載して下さい。
	搬出経路		障害物 ☐ 有() ☒ 無 前面道路の幅員 約 12 m 通学路 ☒ 有 ☐ 無 その他(道路上のため支障無)	交通整理員の常駐を計画	
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)		☐ 有 () ☐ 無		⑧新築工事は記載不要。 修繕・模様替等工事で付着物の有無のチェックマークを付け、付着物がある場合は措置の内容を記載して下さい。
	他法令関係 (解体・維持・修繕工事のみ)	石綿 (大気汚染防止法・安全衛生法石綿則)	☐ 有 特定建設資材への付着(☐ 有 ☐ 無) ☐ 無		⑨新築工事は記載不要。 修繕・模様替等工事でフロン類の使用の有無をチェックマークを付け、使用の場合は措置の内容を記載して下さい。
	その他				⑩解体工事で有害物質の発生の場合は、種類・発生箇所等について記載し、措置の内容を記載して下さい。
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容		分別解体等の方法 (解体工事のみ)	⑪解体工事の場合については、分別解体等の方法にチェックマークを付けて下さい。
	①仮設	仮設工事 ☒ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	⑫仮設工事の有無について、チェックマークを付けて下さい。 ⑬土工工事の有無について、チェックマークを付けて下さい。
	②土工	土工工事 ☒ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	③基礎	基礎工事 ☒ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	⑭基礎工事の有無について、チェックマークを付けて下さい。
	④本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	⑮道路舗装等の本体構造の工事の有無について、チェックマークを付けて下さい。
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	⑯防護柵や照明設備等の本体付属品の工事の有無について、チェックマークを付けて下さい。
	⑥その他 ()	その他の工事 ☐ 有 ☒ 無		☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	⑰①～⑤に該当しない工種等の有無について、チェックマークを付けて下さい。
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		☐ 上の工程における⑤→④→③の順序 ☐ その他() その他の場合の理由()		←	⑱解体工事のみ記載してください。その他の場合は、一部の工程がない等の理由を記載して下さい。
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)		トン		←	⑲解体工事のみすべての資材のトン数について記載して下さい。
廃棄物発生見込み	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)	⑳発生が見込まれる部分は(注)に従い、適切に工程にチェックマークを付けて下さい。 数量は整数で記載して下さい。
		☒ コンクリート塊	10トン	☐ ① ☒ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	
		☒ アスファルト・コンクリート塊	230トン	☐ ① ☒ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	
		☐ 建設発生木材	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他					
備考		コンクリート:○○産業 アスファルト:○○興業 木材:○○興産		←	㉑特定建設資材廃棄物の再資源化の依頼予定事業者を記載して下さい。